



幾年此世に安んずるは

か後行くと決まらざる

奇蹟ある故にその一少

りては其の社をよむ

その事なりと云ふ事

推察するにその事

早急の事なり

有るは其の社をよむ

りては其の社をよむ

たはりて其の社をよむ

この世に人は

はるかに

はるかに

はるかに

はるかに

はるかに

はるかに

はるかに

はるかに

はるかに

縦書きの注釈



無事れ世受お殺して
少後片く世一多毛中
奇一確する誠向のの一寸望
りー祝友社えよせい
との事りききえさる
指者ららるる事り
早一氣の事一ん
有る病利は世受を後さ
り一後一と一月かして
さ中一か甲合おすこと
大はりさる事一ん

この何人は西直心
は心一之行は
本一
是河志一と交る事り
方一り一
早一
此若一地方一
市一
り一と
千世方おの社ま下
言一
の事一

此等之
千世方おの社ま下
言一
の事一



尾崎紅葉書簡

丸岡九郎宛

6 7 8 9 60 1 2 3 4 5 6 7 8 9 70 1 2 3 4 5 6 7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2



水不著 美術と文学に収む

左
向
人
好
藏

